

## ナショナルトレーニングセンターの周辺のバリアフリー化促進に関する 整備進捗概要

ナショナルトレーニングセンター周辺のバリアフリー化  
促進に関する関係省庁等連絡会議

### 1 経緯

本会議は、ナショナルトレーニングセンターへの公共交通機関によるアクセス経路や敷地内の各施設間の移動経路について、日本パラリンピアンズ協会の調査報告書を基に、それ以外にも利用が想定される箇所を含め、障がい当事者や学識経験者、関係機関を交えて実地点検を実施した。その上で、バリアフリー化を段階的・継続的に進める「アクセシブルルート」を設定し、各施設管理者等が取り組む事項について「当面の整備方針」として取りまとめた。

### 2 整備方針の基本的な考え方

- 整備にあたっては、実地点検の結果を踏まえつつ、関係機関等と連携・調整を図る
- ハード整備と併せて、情報発信及び「心のバリアフリー」の推進等に取り組む
- JSC、北区、板橋区など関係機関が協力して、当面の整備方針に盛り込むことができなかった課題を含め継続的にスパイラルアップを図る

### 3 整備方針の進捗状況

全 53 項目のうち、40 項目が対応完了

- ・拡充棟前、国立スポーツ科学センター前交差点の整備項目(3 項目)は全て完了
- ・東洋大学前ルートの整備項目(14 項目)のうち 10 項目完了
- ・清水町ルートの整備項目(3 項目)は全て完了
- ・ハイパフォーマンススポーツセンター西側ルートの整備項目(10 項目)のうち 8 項目完了
- ・ハイパフォーマンススポーツセンター東側ルートの整備項目(3 項目)のうち 2 項目完了
- ・赤羽駅から拡充棟の整備項目(14 項目)のうち 11 項目完了
- ・ハイパフォーマンススポーツセンター施設間の整備項目(6 項目)のうち 3 項目完了

### 4 今後の方針

整備方針の未完了項目及び別添の実地点検結果の進捗について、関係機関の協議を促進して、継続協議していく。